

令和3年度行政提案型協働事業

未来につなげる 地域の活動拠点づくり事業 ＝事業報告＝

令和4年3月23日

みらいくる

1 団体紹介

● 団体名：みらいくる

代表者名	徳納 弘和
発足年月日	令和2年4月27日
構成員数(会員数)	9名(個人会員) ※令和3年3月末現在
役員数	3名(会長・副会長・監事)
主な活動地域	会津若松市内
主な活動内容 ・業務内容	公共団体(国、県、市町村等)及び民間団体(自治会、企業、NPO法人、その他の団体など)が行う、まちづくりや地域活性化、社会教育事業等の企画・運営・調査研究等の活動の支援を通じて、住民参画によるより豊かで持続可能な社会づくりにつなげることを目的とする。



2 事業概要

- 市の公共施設マネジメントの取組の一環として、地域の方々と共に、地域の現状や課題、様々な活動の状況などを整理しながら、学校や公民館、コミュニティーセンターといった、地域の公共施設等について、地域の課題解決や活性化につながる利活用のアイデアを検討することを目的に活動しました。
- 令和3年度は、行仁・門田の2地区において、住民ワークショップやアンケート調査などを行い、地域の課題や資源、活動状況、今後の地区に必要な活動などについて整理しました。

2 事業概要

● 取組経過

年	月	取組
令和3年	6月～7月	対象地区の公募（市公共施設管理課が実施） * 行仁・門田2地区から応募を受付
	8月～9月	各地区区長会と取組の進め方について協議
	10月	門田地区防災デイキャンプ実施 門田地区住民・各種団体アンケート実施
	11月	第1回行仁地区未来デザイン会議 第1回門田地区子育て世代ワークショップ
	12月	第2回門田地区子育て世代ワークショップ 第2回行仁地区未来デザイン会議
令和4年	1月	第3回行仁地区未来デザイン会議 行仁地区住民・各種団体アンケート実施

3 役割分担

- 取組にあたり、当団体と市とで以下の体制で協力して進めました。

市の役割	<ul style="list-style-type: none">● 実施団体の募集● 地区の各種団体や学校、関係課・機関等との連絡調整● 事業全体のスケジュール管理や会場確保、GIS地図作成 など
当団体の役割	<ul style="list-style-type: none">● 意見交換会（ワークショップ）やアンケート調査の企画運営● アンケート調査票（Web回答のフォーマット）やチラシの作成● ワークショップやアンケート調査結果の整理・分析、今後の検討の進め方の提案 など

4 令和3年度の取組内容

① 行仁地区の取組

行仁地区では、「地域の施設が限られている」という課題の解決に向け、住民ワークショップやアンケート調査等を行い、地域の課題や資源、各種団体の活動状況などを整理しながら、地域の中での共通認識の醸成や、具体的な解決策の検討に向けたデータの整理などを進めました。



4 令和3年度の取組内容

行仁地区の取組：地域の活動拠点ネットワーク事業

■ 主な取組

- ① 未来デザイン会議
- ② 行仁地区住民アンケート
- ③ 行仁地区各種団体アンケート

■ 検討内容・成果等

① 行仁地区未来デザイン会議

- 第1回：令和3年11月19日（金） 会議の目的・趣旨について意見交換
 - 第2回：令和3年12月17日（金） WS形式で意見交換し地域の課題・資源を整理
 - 第3回：令和4年1月21日（金） WS形式で地図上に活動状況を「見える化」
- 会 場：行仁小学校 / 参加者：行仁地区各種団体の皆様（各回20名程度）

② 行仁地区住民アンケート

- ・ 調査期間：令和4年1月～2月
- ・ 調査内容：地域の取組の重要度や満足度、良い所など
- ・ 回答者数：49名/7,465名（回収率0.7%）

③ 行仁地区各種団体アンケート

- ・ 調査期間：令和4年1月～2月
- ・ 調査内容：各団体の概要、活動状況、課題など
- ・ 回答数：14団体/18団体(回収率77.8%)



4 令和3年度の取組内容

① 行仁地区の取組

● ワークショップの主な意見

【地域の課題】

- * 少子高齢化
- * 担い手不足
- * 歳の神の場所
- * 同じような団体が多い
- * 集会所が少ない

【地域の資源】

- * 子どもが素直
- * 高齢者のサロン活動が活発
- * 住民同士のつながり
- * 団体がまとまっている
- * 地域のお祭りや運動会などのイベント
- * 生き物（ザリガニ、ホタル、カモなど）

4 令和3年度の取組内容

① 行仁地区の取組

● ワークショップの主な意見

【地域の活動状況】

○行仁コミュニティセンター（17活動）

- ・ 区長会の会議や地域サロン、サークル活動、そば会など

○行仁小学校（10活動）

- ・ あいさつ運動や見回り、地区運動会、歳の神、バザーなど

○桧町内会の活動（12活動）

- ・ 地域サロン、グラウンドゴルフ、お祭り、芋煮会など

4 令和3年度の取組内容

① 行仁地区の取組

● 住民アンケートの結果

- ・ 94%が「とても住みやすい・住みやすい」と感じている
（理由） 駅やスーパー、ドラッグストア、病院などが近くにある。
治安が良く、静か。親切な人が多い。 など
- ・ 82%が「地域に愛着がある」と感じている
- ・ 防犯・防災、高齢者福祉、子どもたちの教育や遊び場が重要度が高い
- ・ 高齢者福祉、コミュニティ活動、公共施設や公共交通、子どもの遊び場が満足度が低い（重要度とのギャップがある）
- ・ 地域活動に積極的な方は30%ほど
- ・ 大半の方が地区運動会と歳の神の継続を希望している
※地区運動会（約80%）、歳の神（100%）

4 令和3年度の取組内容

① 行仁地区の取組

- 各種団体アンケートの結果
 - 約半数の団体が60代以上の方で構成
 - 会員数10～20名程度、役員数4～9名程度の団体が多い（半数ほど）
 - ほぼ全団体が会費と自治体からの助成金をもとに、コミュニティセンターや学校を活動拠点として活動している
 - 全団体が新型コロナウイルス感染症の影響で活動が縮小
 - 会員の固定化や担い手不足、参加者の減少が課題
 - 施設については、気軽に使えないことや利用料金の課題をあげる団体がある一方、「問題ない」とする団体も多い
 - 今後の課題として、「関係する団体の連携」をあげる団体が多い

4 令和3年度の取組内容

① 行仁地区の取組

● 今後の取組の提案

令和3年度に整理した地域活動現状や課題、アンケート結果などを
もとに、

- ・ 公共施設と地域の施設のネットワークづくりや活用のアイデア
- ・ 各種団体の連携や組織体制の見直し案

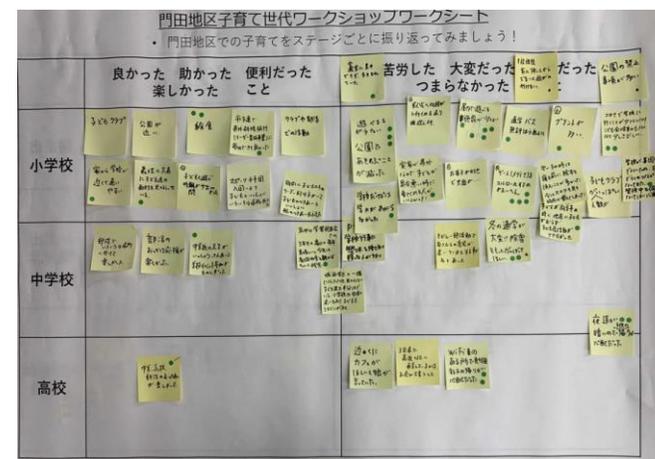
などについて引き続き検討したいと考えています。

※実際の検討内容は、今後、地域の方々と協議していきます。

4 令和3年度の取組内容

② 門田地区の取組

門田地区では、「地域の課題解決の手法やそのための組織体制のあり方」をテーマに、アンケート調査や地域カルテの作成、ワークショップにより、地域の現状を見える化し、課題の洗い出しや、課題解決の手法の検討を行いました。



4 令和3年度の取組内容

門田地区の取組：門田Re:デザイン事業

■ 主な取組

- ① 門田防災デイキャンプ
- ② 子育て世代ワークショップ
- ③ 門田地区住民アンケート
- ④ 門田地区各種団体アンケート

■ 検討内容・成果等

① 門田防災デイキャンプ

- ・ 日時：令和3年10月9日（土）9：30～11：00
- ・ 会場：南公民館 / 参加者：35名（区長会等25名、消防団3名、住民7名）
- ・ 内容：居住地域の災害の把握、「ふくしまマイ避難ノート」によるマイ避難シート作成、災害情報の取得方法、土のう・水のうの作り方と利用方法 など

② 子育て世代ワークショップ

- ・ 第1回：令和3年11月20日（土）18：00～19：30
- ・ 第2回：令和3年12月11日（土）18：30～19：30
- ・ 会場：南公民館
- ・ 内容：第1回…子育てしていて良かったこと、大変だったとことを振り返る
第2回…これからの門田地区の子育てに必要な取組などを考える



4 令和3年度の取組内容

行仁地区の取組：地域の活動拠点ネットワーク事業

■ 主な取組

- ① 門田防災デイキャンプ
- ② 子育て世代ワークショップ
- ③ 門田地区住民アンケート
- ④ 門田地区各種団体アンケート

■ 検討内容・成果等

- ③ 門田地区住民アンケート
 - ・ 調査期間：令和3年10月～11月
 - ・ 調査内容：地域の取組の重要度や満足度、良い所など
 - ・ 回答者数：116名（回収率0.5%）

- ④ 門田地区各種団体アンケート
 - ・ 調査期間：令和3年10月～11月
 - ・ 調査内容：各団体の概要、活動状況、課題など
 - ・ 回答数：9団体



4 令和3年度の取組内容

② 門田地区の取組

● 子育て世代ワークショップの結果

○第1回（門田地区での子育てをステージごとに振り返る）では、

- ・子育てに関する情報の共有があれば嬉しい
- ・子ども会活動の減少

などの意見が出されました。

また、子どもの年齢や家庭環境等に応じて、親が感じる課題や必要となる支援のニーズが異なることがわかりました。

○第2回（これからの子育て環境について考える）では、

- ・子ども会活動の充実
- ・学校の規則が変えられないか（学区内でしか遊べない など）
- ・学習支援や居場所づくり
- ・イベントの充実や新しい催し などのアイデアが出されました。

4 令和3年度の取組内容

② 門田地区の取組

● 住民アンケートの結果

- ・ 約70%が、「とても住みやすい・住みやすい」と感じている
※生活利便性が良いという意見が多い
- ・ 約60%の方が「地域に愛着がある」と感じている
- ・ 「防災・防犯」「公共施設」「公共交通」「公園や子供の遊び場」「鳥獣害対策」が重要度、満足度のギャップが大きい
- ・ 地域の課題として、少子化・高齢化、地域のつながり、子どもの遊び場、地域活動の担い手不足等、多岐にわたる意見が出された
- ・ 今後の取り組みアイデアとして、地域全体での情報の共有や、横のつながりづくりなどの意見が出された

4 令和3年度の取組内容

② 門田地区の取組

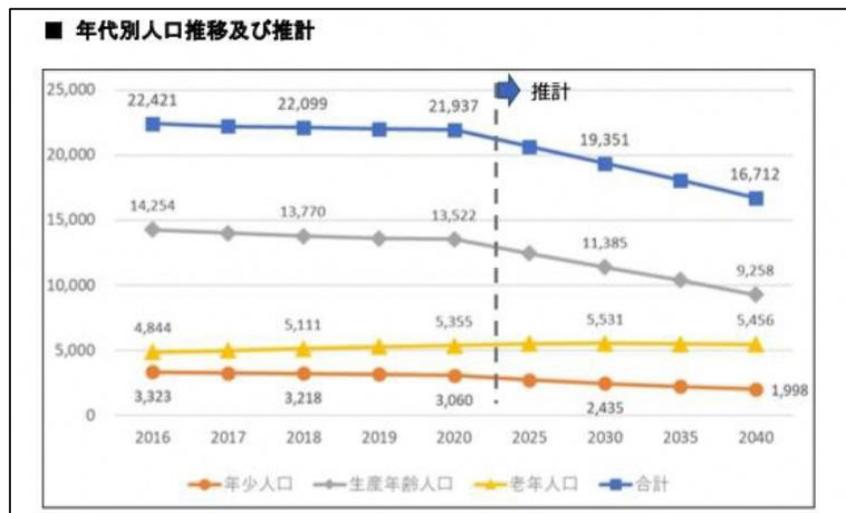
● 各種団体アンケートの結果

- 約7割の団体が60代以上の方で構成
- 会員数20～30名程度、役員数4～9名程度の団体が多い
- ほぼ全団体が自治体からの助成金や区長会からの資金をもとに、コミュニティセンターや学校を活動拠点として活動している
- ほぼ全団体が新型コロナウイルス感染症の影響で活動が縮小
- 会員の固定化や担い手不足、参加者の減少が課題
- 今後の課題として横の連携の強化や助成金、相談窓口などの意見があった

4 令和3年度の取組内容

② 門田地区の取組

アンケートとあわせ、地区の概要や人口の推移についてまとめた地域カルテを作成しました。



地区ごとの人口、若年層・高齢化率(2021年4月1日現在)

年齢	館馬町			古川町			西年貢一丁目			西年貢二丁目			天神町			東年貢一丁目		
	女	男	合計	女	男	合計	女	男	合計	女	男	合計	女	男	合計	女	男	合計
合計	455	388	843	373	351	724	238	239	477	258	240	498	794	690	1,484	540	504	1,044
19歳以下割合	11.5%			24.4%			20.5%			19.7%			11.7%			19.7%		
65歳以上割合	40.8%			19.2%			23.5%			32.1%			35.9%			26.1%		
75歳以上割合	30.5%			14.6%			16.8%			22.7%			28.4%			21.6%		
世帯数	501			293			208			215			762			435		
平均世帯人数	1.7			2.5			2.3			2.3			1.9			2.4		

【まとめ】

- 人口動態について、新興住宅地が整備されている地区は人口が増加していますが、昔ながらの集落の地区では人口が減少傾向にあり、地区ごとに差があります。
- 年齢別人口について、門田地区全体では年代ごとの差はあまりありませんが、地区ごとにみると年代の割合にばらつきがあり、少子化・高齢化が進んでいる地域と子育て世代が多い地域では住民のニーズが異なっている可能性があります。

4 令和3年度の取組内容

② 門田地区の取組

● 今後の取組の提案

令和3年度に整理した地域活動現状や課題、アンケート結果などをもとに、

◆門田地区各種団体連絡協議会を中心とした今後の地域の組織体制の検討

◆地区の現状の把握と、よりよい地域づくりの実現に向けた取組を定め、地域全体で共有するための計画づくり

などについて引き続き検討したいと考えています。

※実際の検討内容は、今後、地域の方々と協議していきます。

5 取組の評価と課題

- 取組により、地域の現状や課題、活動状況、住民の方々の考えなどを「見える化」し、将来に向けた地域全体の課題や新たな取組のアイデア等を検討するための共通認識を醸成することができました。
- 一方、地域の方々の取組への理解を醸成することや、地域の課題等についての共通認識づくりに重点を置いたこと、新型コロナウイルス感染症の影響により思うようにワークショップ等が実施できなかったことなどから、メインテーマである、公共施設等の活用のアイデアや地域の組織体制の見直しといった課題まで議論を進めることができませんでした。
- そのため、来年度も引き続き検討を継続したいと考えています。

6 協働の成果

- 本事業の推進にあたり、当団体が地域住民と市とをコーディネートすることで、市がこれまで構築してきた地域の方々との信頼関係と当団体のファシリテーションのノウハウとを生かしながら、地域の方々の意識の醸成や活発な議論へとつなげることができ、協働事業として十分な成果をあげられたものと考えています。
- 事業実施にあたっては、月1回の定例会やチャットツールの活用により、緊密な連携を図るとともに、それぞれの得意分野に応じた役割分担を行うことで、スムーズに進めることができました。

まとめ

- 当団体としては、立ち上げ後の最初の大きな事業でしたが、市や地域の皆様のご協力を得ながら、想定以上の成果につながられたものと考えております。
- 地域の方々からも一定の評価を得ていることから、来年度も引き続き、当事業に挑戦させていただき、団体としての体制づくりを行いながら、本市の地域づくり等の中間支援組織のひとつとして自立していきたいと思います。
- 今回は、貴重な経験の場を作っただき、ありがとうございました。